TOSTEM トステム株式会社

# アレスポートⅡ600形(一般地域用)　取付け説明書

## ■施工される方へのお願い

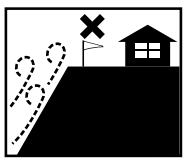
●この説明書は施工完了後、施主様へお渡しください。
●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠注意・・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 注　意

●製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件



●母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
落雪により製品が破損するおそれがります。
●本製品は一般地域用です。積雪の多い地域には取り付けないでください。
一般地域用600タイプ…積雪20ｃｍ以下の地域

●本製品は地上階に取付ける設計となっております。2階以上の高所に取り付けると強風により製品が破損するおそれがあります。
●柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
●崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
●風当りの強い場所及びサイドスクリーンを付ける場合は補助柱で製品の補強をするとともに、風にあおられない向きに取り付けてください。
（前枠を建物側に向けて設置してください。）
（例1）：丘陵地
（例2）：田畑・野原・風を妨げる物のない平地に隣接した場所や海岸沿い等

■部材の固定
●タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。
●組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締め付けてください。

■施工時の足場について
●施工時はしっかりと足場を設け、転落などの危険がないよう注意してください。

■基礎について
●基礎は当社指定寸法以上にしてください。
●地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
●寒冷地で凍上のおそれのある地域に取付ける場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
●基礎には海砂及び急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。
●柱には水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

■絶縁処理について
●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。

■屋根パネルについて
●屋根パネルは当社指定の製品をご使用ください。

■施工について
●みだりに改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・四周の囲い等）をしないでください。
●取付けは専門業者の方が行なってください。専門知識がない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●シーリング指定個所には必ずシーリング材を充てんしてください。
●水平・垂直は正確に測ってください。直角が出ていないと施工に支障がでるおそれがあります。
●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。

## ■お施主様へのお願い

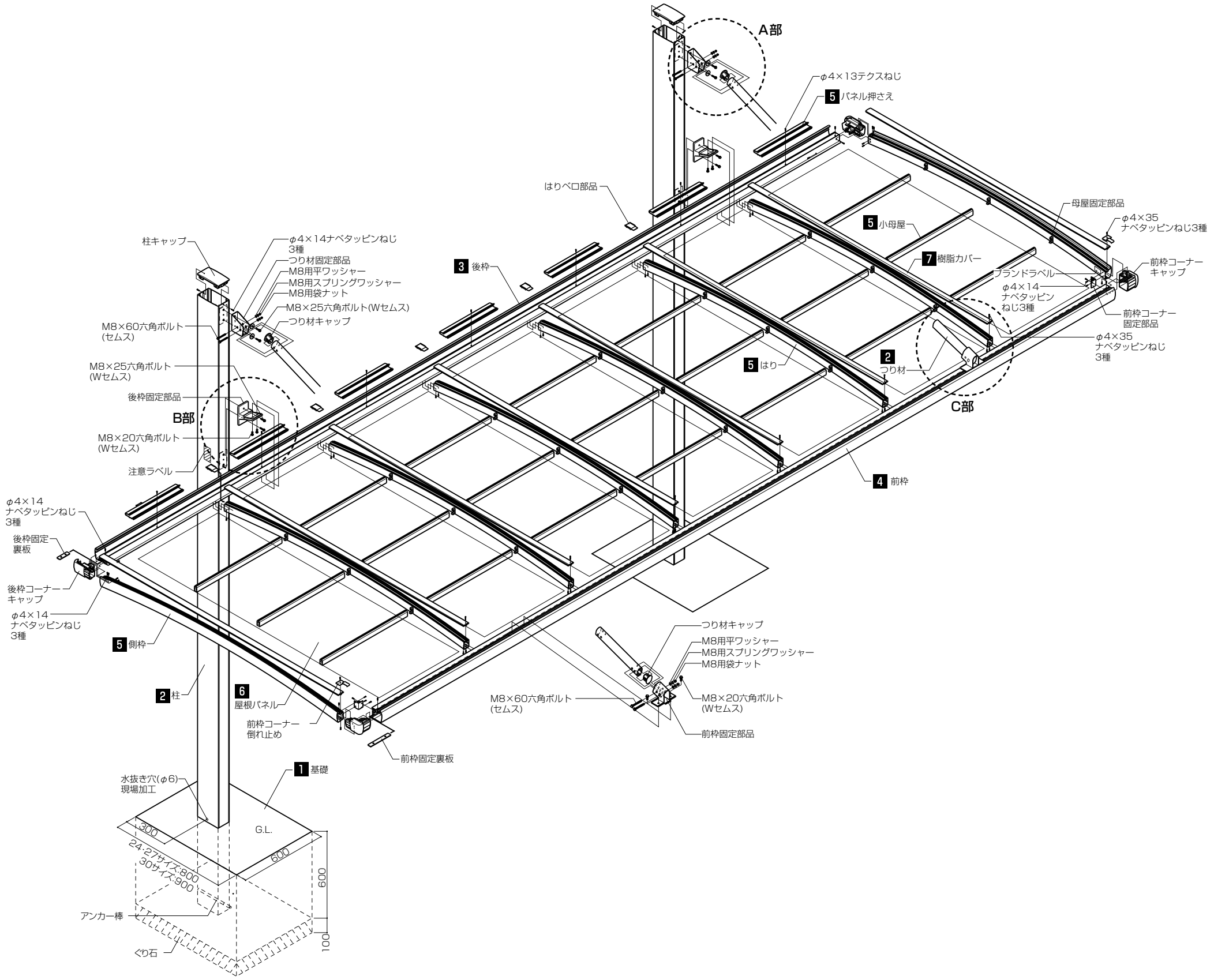
### ⚠ 注　意

●屋根の上には絶対にのらないでください。転落するおそれがあります。
●積雪が20cmを超える前に雪おろしをしてください。製品破損による被害のおそれがあります。
雪の重さは雪の状態により大きく変化します。特に春先の雪は重く降雨や湿雪の後などは新雪に比べ3倍位の重さになります。
※積雪量1cmあたり3kg/m$^2$（比重0.3）で算出しています。（雪おろしの際、絶対に水をかけないでください。雪がさらに重くなります。）

### お　願　い

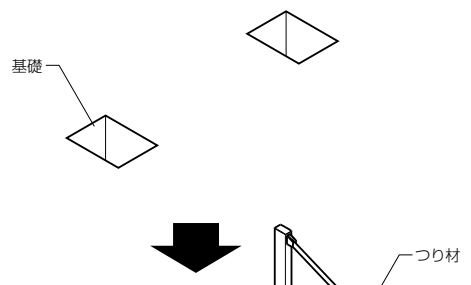
●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
●屋根の上に物をのせないでください。
●ボルト・ナット・ねじ等は絶対に緩めないでください。
●積雪時・強風時には製品の補強のため、補助柱を使用してください。
●雪おろしの際、金属製のスコップ等を使用すると屋根材が割れたり傷つく原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行なってください。

## ■構造説明図

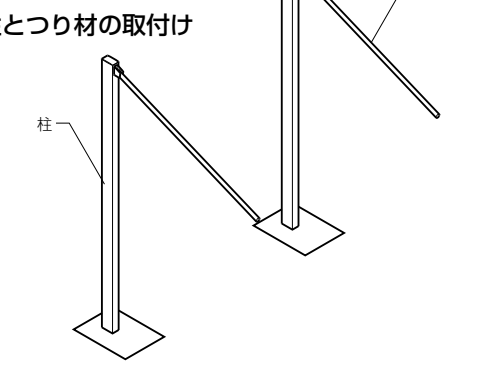


## ■組立て手順

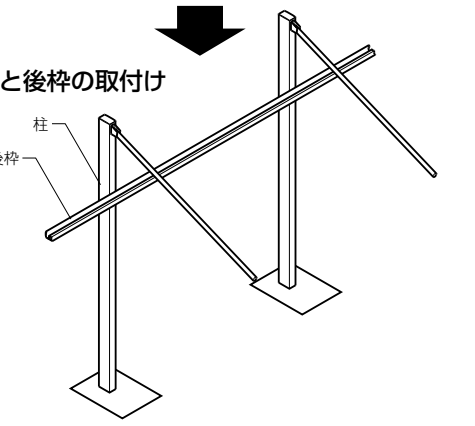
### 1基礎の施工



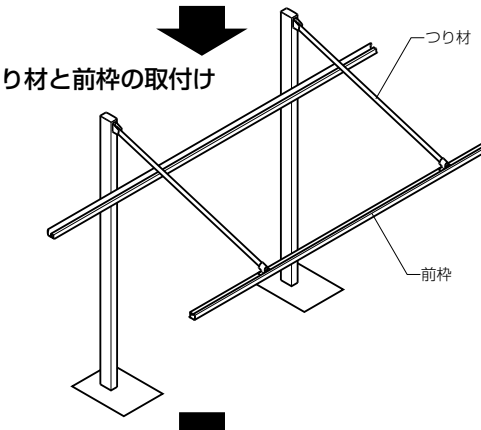

### 2柱とつり材の取付け




### 3柱と後枠の取付け

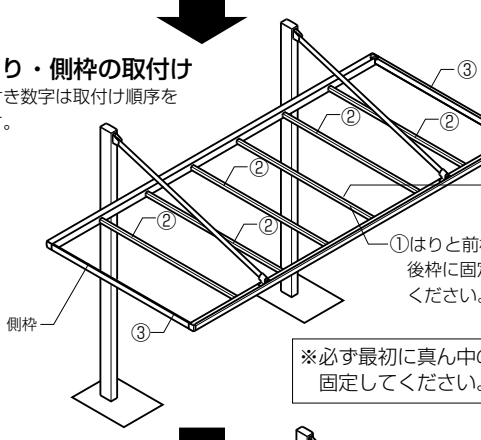



### 4つり材と前枠の取付け



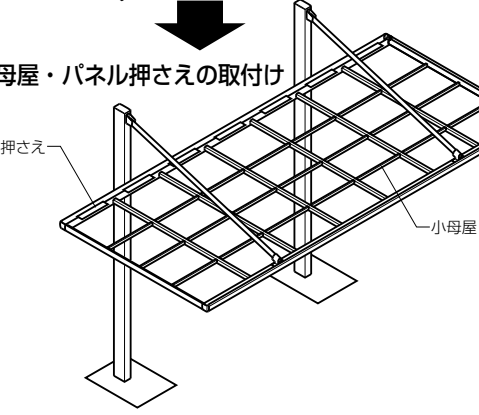

### 5はり・側枠の取付け

※丸付き数字は取付け順序を示す。

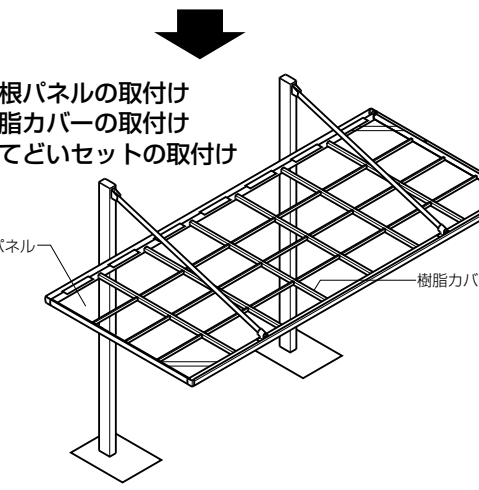



※必ず最初に真ん中のはりを固定してください。

### 5小母屋・パネル押さえの取付け




### 6屋根パネルの取付け
### 7樹脂カバーの取付け
### 8たてどいセットの取付け




## ■取付け手順(基本タイプ)

### 1基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。 (単位：mm)

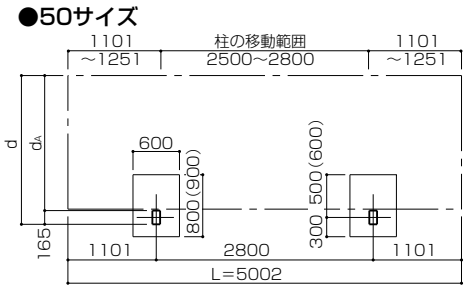
| サイズ呼称 | d | $d_A$ |
|---|---|---|
| 24 | 2385 | 2220 |
| 27 | 2667 | 2502 |
| 30 | 2958 | 2793 |

【お願い】57サイズの場合は、つり材とはりとの干渉を避けるため、中央の柱位置を左右どちらかへずらしてください。

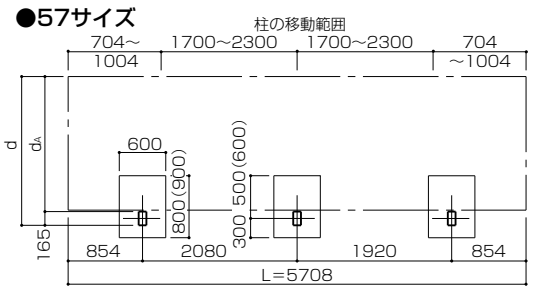
### ■墨出し位置

※( )内は30サイズの基礎穴寸法を示す。

●50サイズ



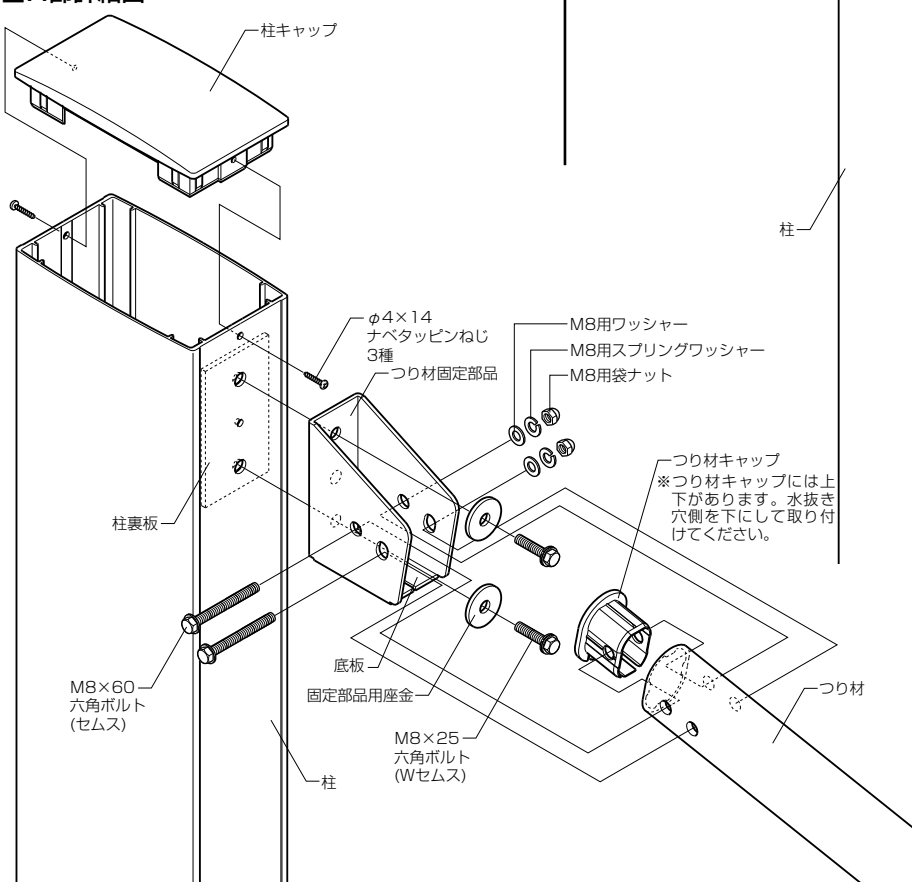

●57サイズ




### 2柱とつり材の取付け

❶つり材固定部品・固定部品用座金を柱に取り付けます。
❷つり材先端につり材キャップをはめ込んだ後、柱に固定します。
❸柱キャップ・アンカー棒を取り付け、柱を建て込みます。
※つり材固定部品には、上下があります。底板がある方を下にして取り付けてください。
※つり材キャップには上下があります。水抜き穴側を下にして取り付けてください。

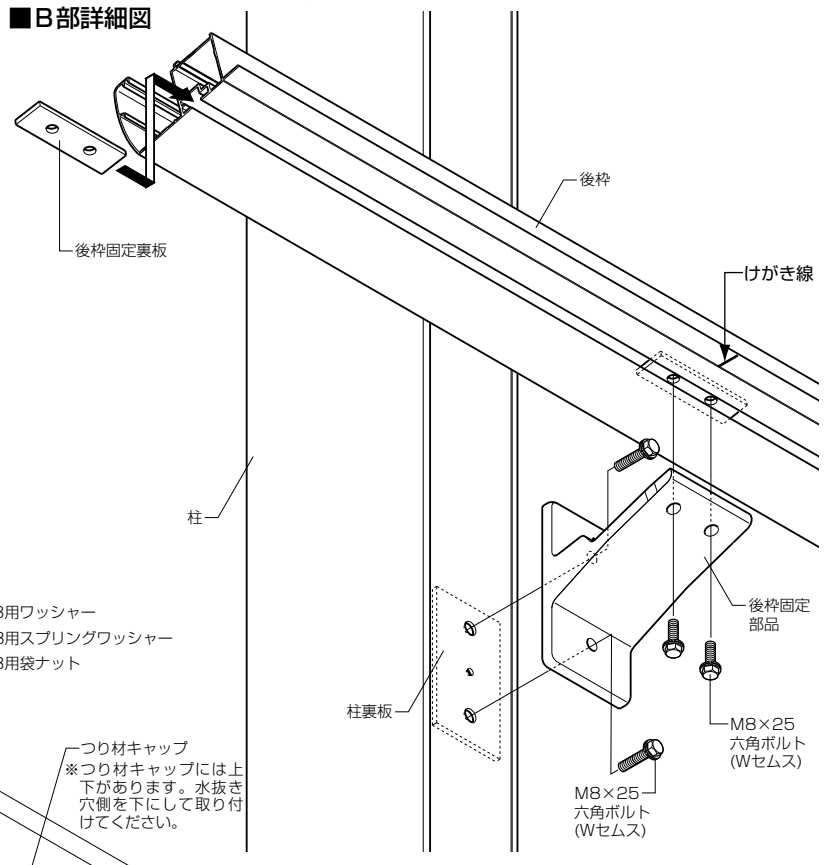
### ■A部詳細図




### 3柱と後枠の取付け

❶後枠固定部品を柱に取り付けます。
❷後枠に後枠固定裏板を入れます。
❸後枠のけがき線を後枠固定部品の中央に合わせて固定します。
※57サイズ後枠の中央部には柱位置のけがき線はありません。

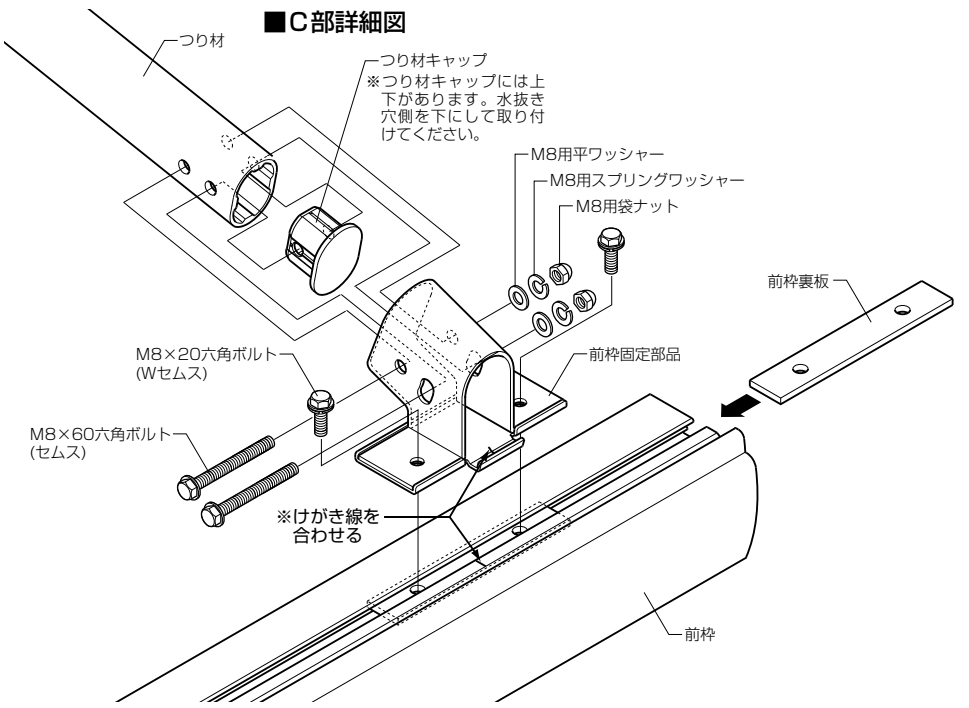
### ■B部詳細図



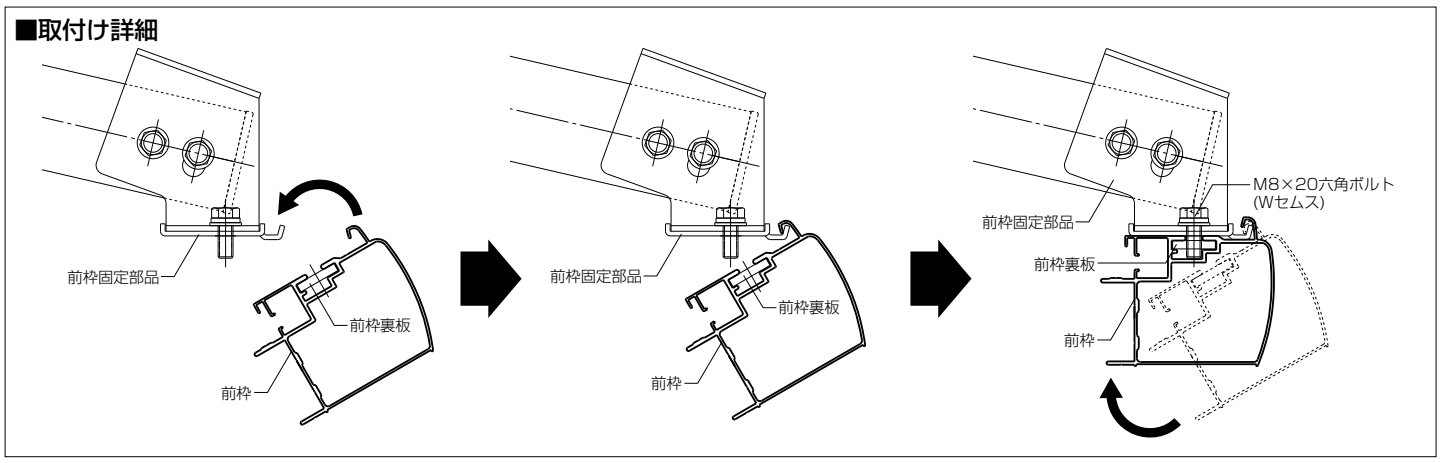

### 4つり材と前枠の取付け

❶ つり材先端につり材キャップをはめ込んだ後、前枠固定部品を取り付けます。
※前枠固定部品取付け後はつり材キャップは固定できません。
❷ 前枠に、前枠裏板を入れます。
❸ 前枠固定部品に前枠を引っ掛け、けがき線同士を合わせてボルト止めします。
※57サイズ前枠の中央部にはつり材位置のけがき線はありません。
※つり材キャップには上下があります。水抜き穴側を下にして取り付けてください。

### ■C部詳細図

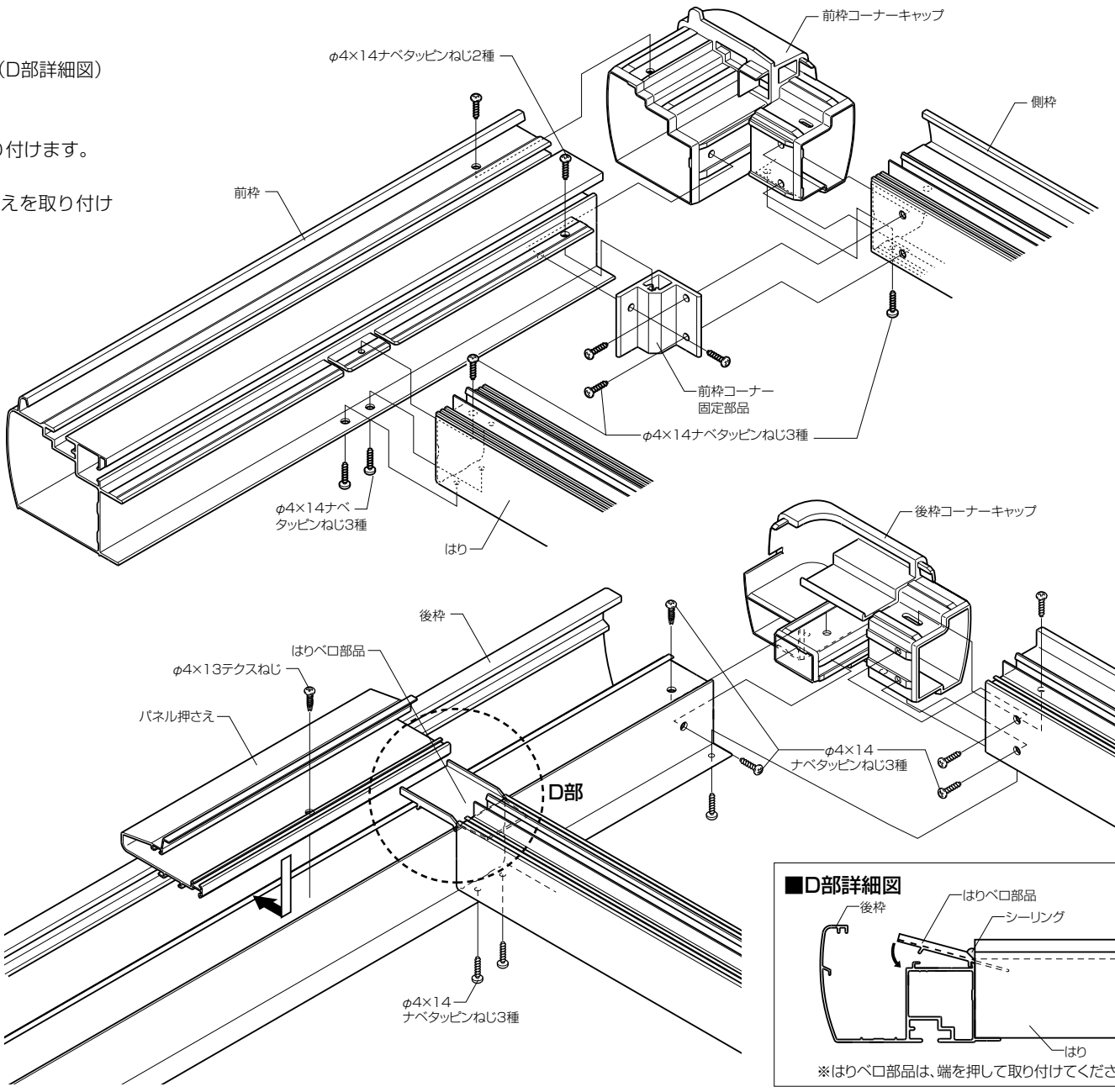



### ■取付け詳細

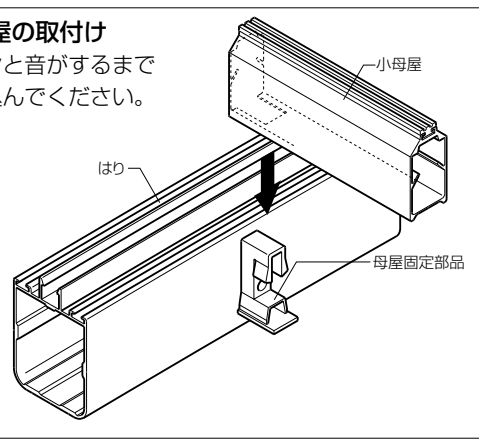


## 5はり・側枠・小母屋・パネル押さえの取付け

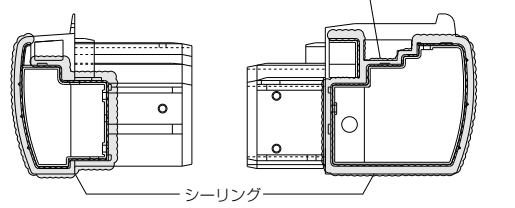
❶前・後枠にはりを取り付けます。
❷はりの後枠側にはりベロ部品を差し込み、シーリングします。（D部詳細図）
❸前・後枠コーナーキャップにシーリング材を充てんします。
❹側枠に前・後枠コーナーキャップを差し込みます。
❺前・後枠に側枠を取付け、前枠側に前枠コーナー固定部品を取り付けます。
❻小母屋をはりに取り付けます。
❼はりとはり、または側枠の中心に合わせて、後枠にパネル押さえを取り付けます。
❽枠の対角・水平、柱の垂直を出します。



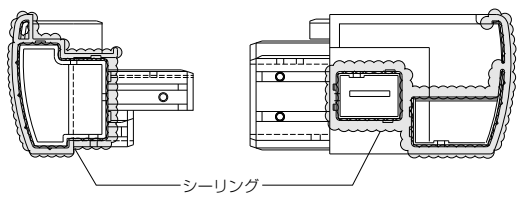

■小母屋の取付け
※パチンと音がするまで
押し込んでください。




●シーリング個所
〔前枠コーナーキャップ〕




〔後枠コーナーキャップ〕

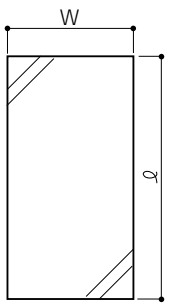



## 6屋根パネルの取付け

❶屋根パネル端部にグレチャンを取り付けます。
❷前枠に水平に差し込み、後枠側をパネル押さえの透き間に差し込みます。
❸はり部ののみ込みを左右均等(12mm)にします。

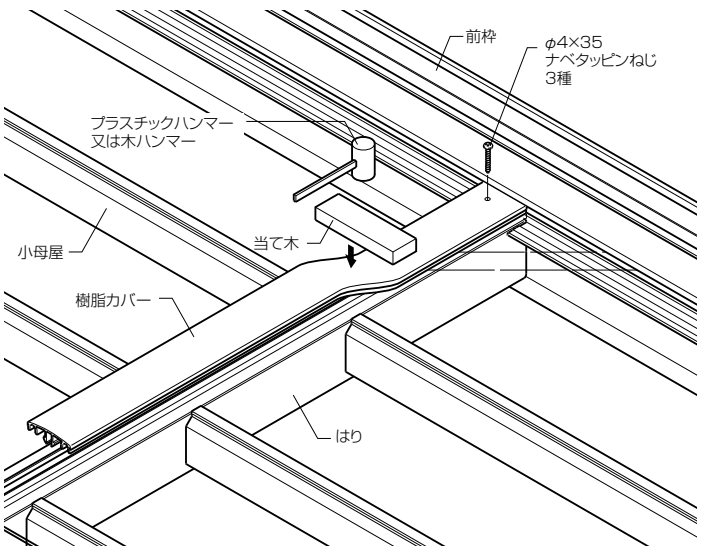
●屋根パネル寸法　(単位：mm)

| サイズ呼称 | W | ℓ |
|---|---|---|
| 24 | 690 | 2130 |
| 27 | | 2426 |
| 30 | | 2734 |

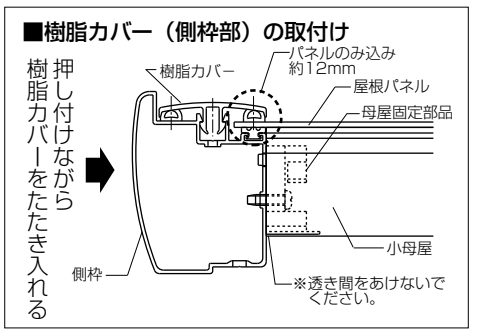


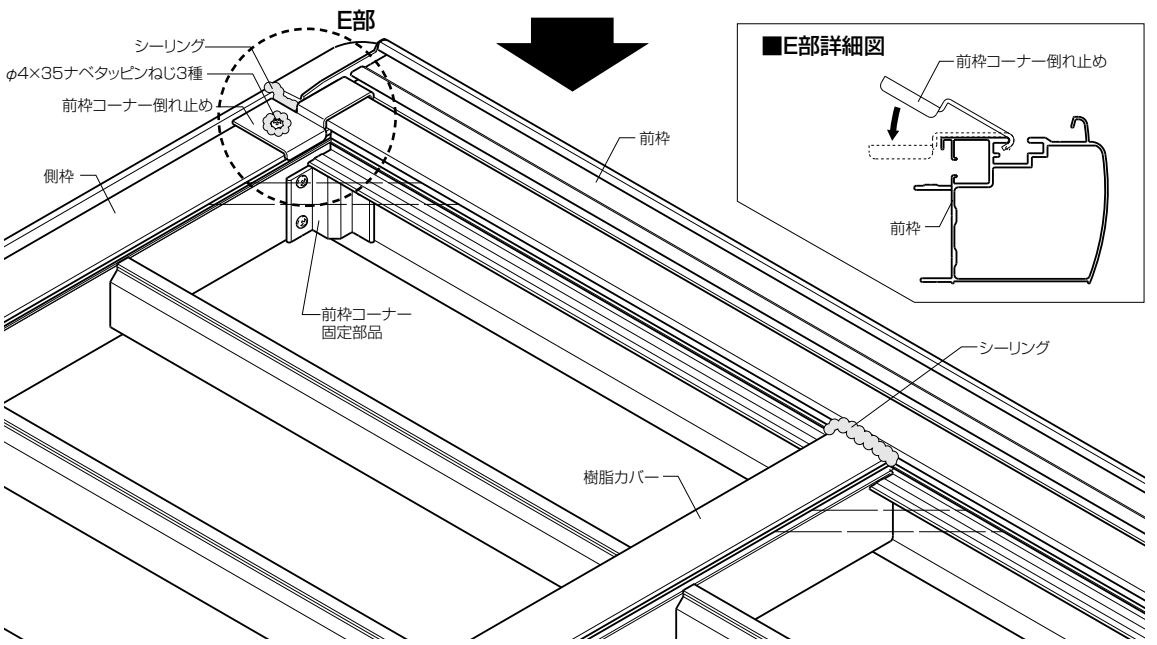

## 7樹脂カバーの取付け

●樹脂カバーで屋根パネルを固定します。
❶樹脂カバーの斜めカット側を前枠の透き間に4mm程差し込みます。
❷前枠側から長さの3分の1程たたき入れた後、後枠側を差し込み、全体をたたき入れます。
※側枠を小母屋に押し付けながら樹脂カバーをたたき入れてください。
❸前枠のボルトホールに前枠コーナー倒れ止めのツメを引っかけて、樹脂カバーの上から側枠に固定します。
（E部詳細図）
❹前枠側の透き間をシーリングします。
※必ず形材と樹脂カバーのはめ合わせ位置があっている事を確認してください。
※必ず当て木をし、プラスチックハンマー又は、木ハンマーでたたき入れてください。
※一度取り外した樹脂カバーは再度使用できませんのでご注意ください。



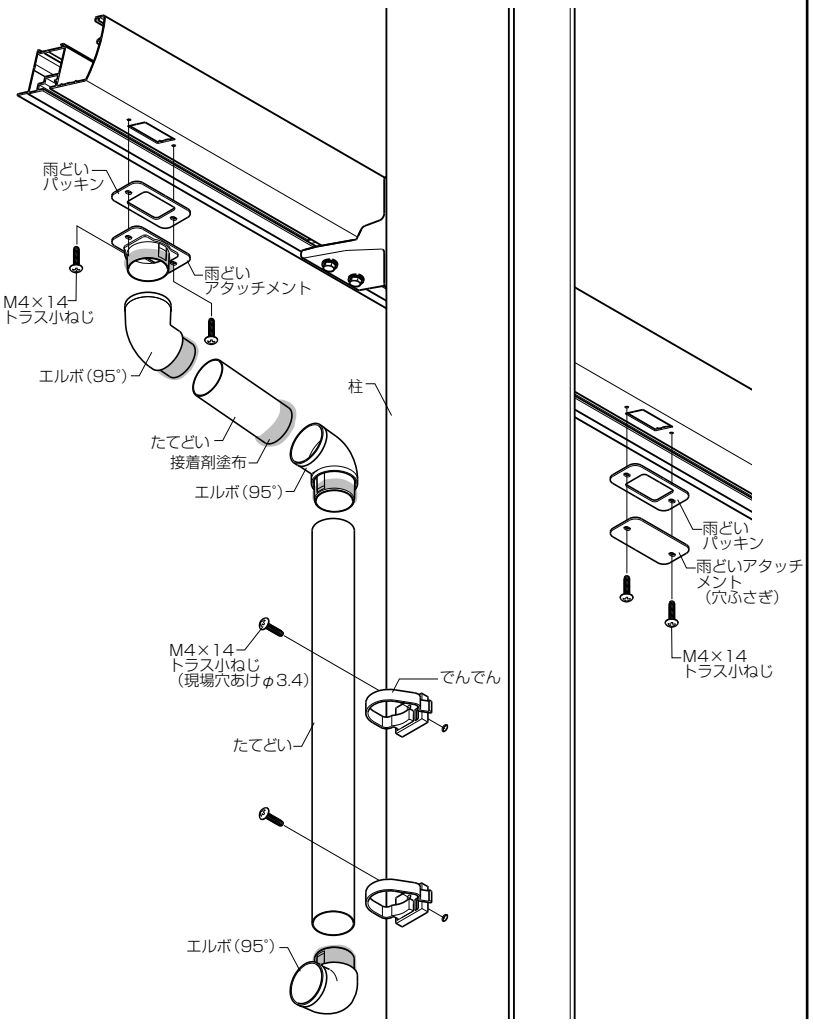

■樹脂カバー（側枠部）の取付け



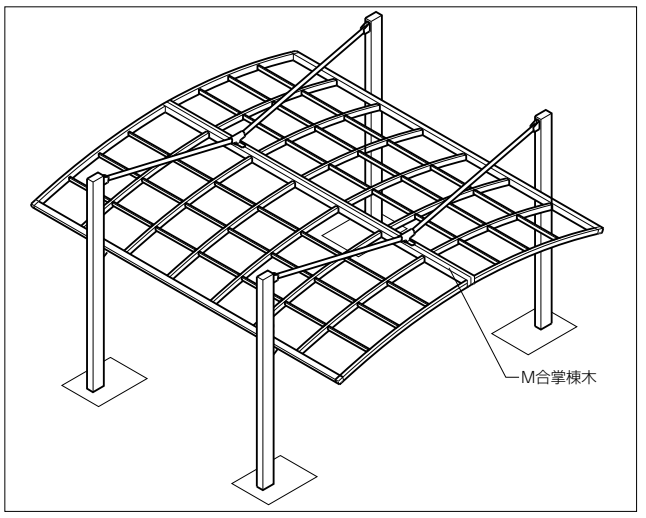




## 8たてどいセットの取付け

❶後枠両端にある水抜き穴のどちらかにたてどいセットを取り付けます。
❷もう一方の水抜き穴に雨どいアタッチメント(穴ふさぎ)を取り付けます。

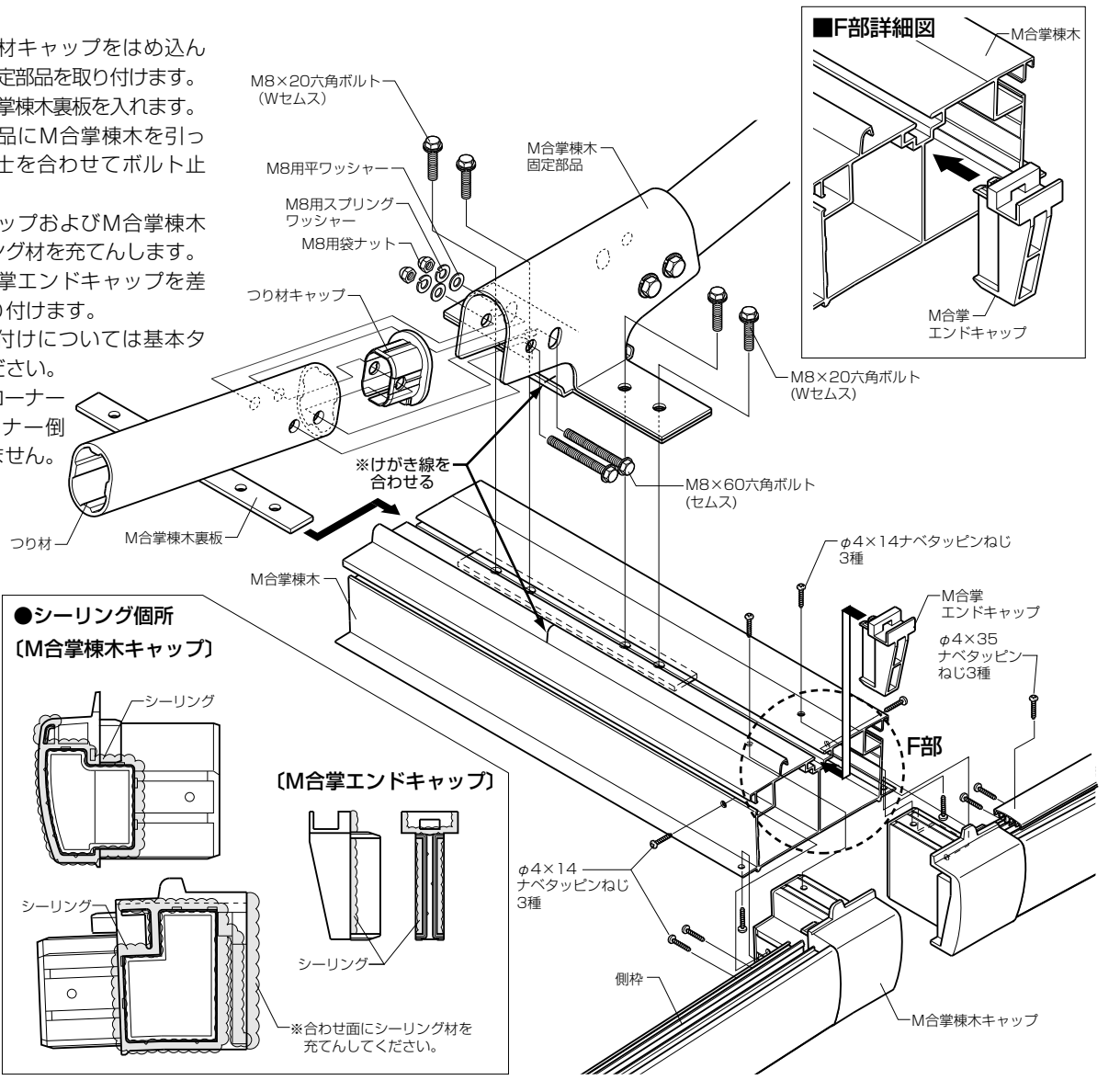


## ■M合掌の取付け手順




### ■M合掌部の取付け

❶つり材先端につり材キャップをはめ込んだ後、M合掌棟木固定部品を取り付けます。
❷M合掌棟木に、M合掌棟木裏板を入れます。
❸M合掌棟木固定部品にM合掌棟木を引っ掛け、けがき線同士を合わせてボルト止めします。
❹M合掌エンドキャップおよびM合掌棟木キャップにシーリング材を充てんします。
❺M合掌棟木にM合掌エンドキャップを差し込み、側枠を取り付けます。
※M合掌部以外の取付けについては基本タイプを参照してください。
※M合掌には、前枠コーナー固定部品,前枠コーナー倒れ止めは必要ありません。

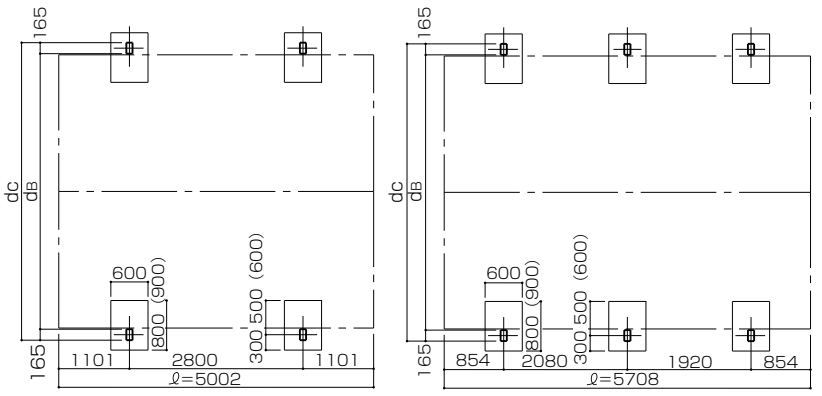



### ■基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については構造説明図を参照してください。
【お願い】57サイズの場合は、つり材とはりとの干渉を避けるため、中央の柱位置を左右どちらかへずらしてください。

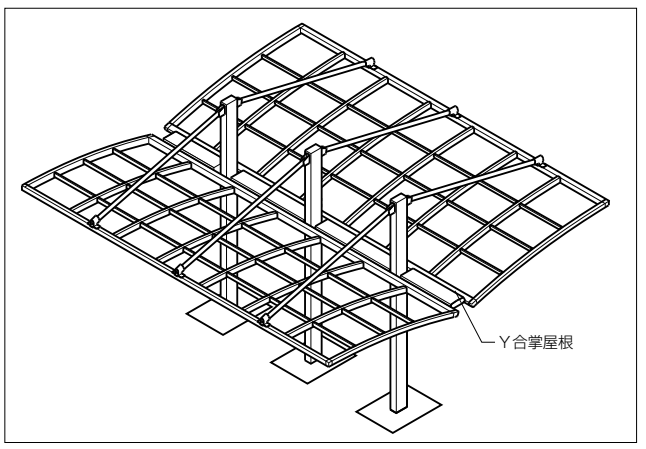
(単位：mm)

| サイズ呼称 | dc | dB |
|---|---|---|
| 24-24 | 4745 | 4415 |
| 27-27 | 5309 | 4979 |
| 30-30 | 5892 | 5562 |



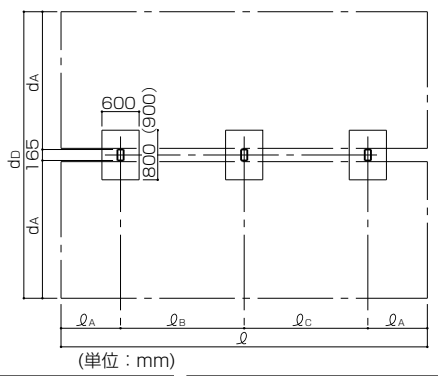

※（　）内は30サイズの基礎穴寸法を示す。

## ■Y合掌の取付け手順




### ■基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については構造説明図を参照してください。
※（　）内は30サイズの基礎穴寸法を示す。




(単位：mm)

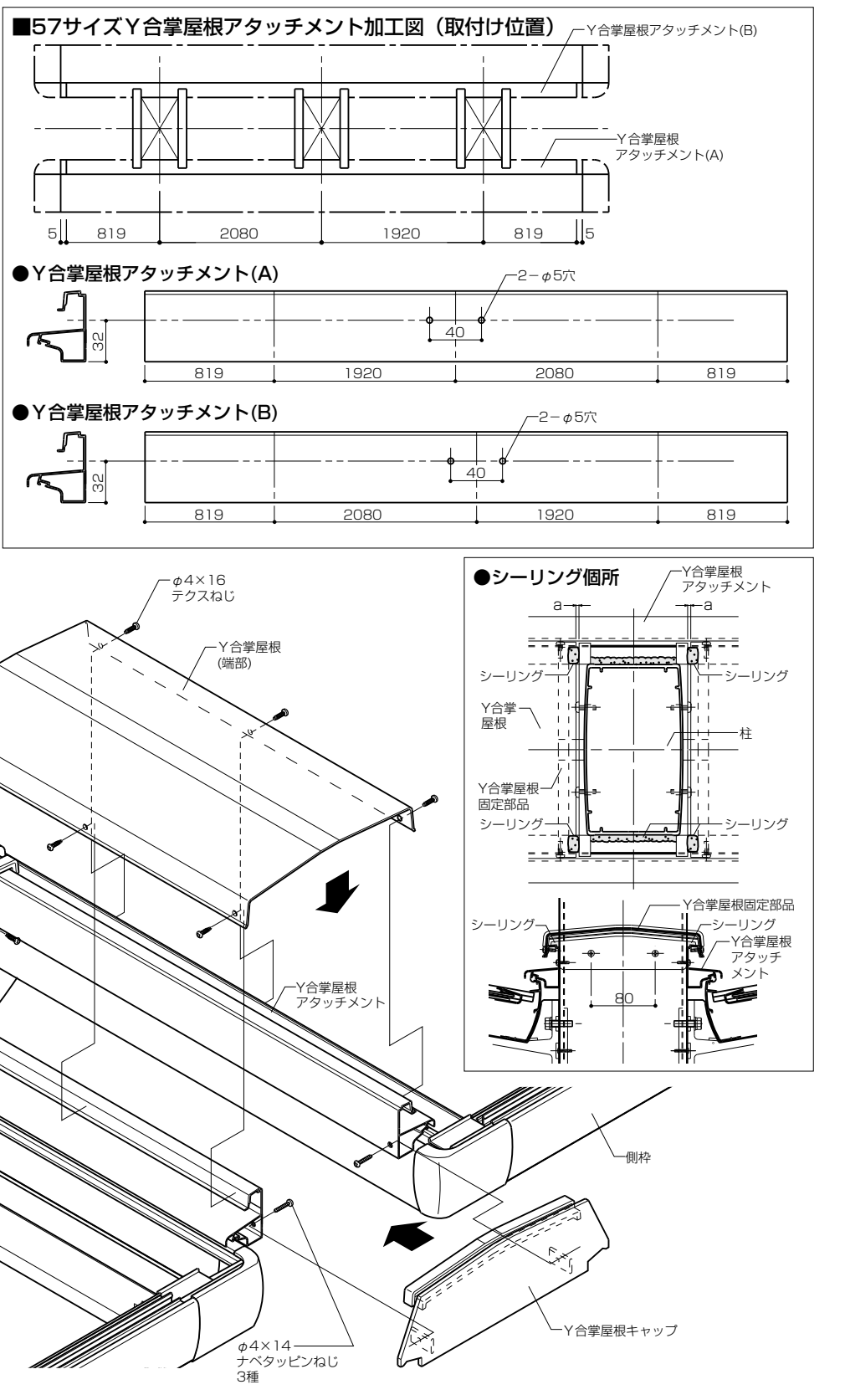
| サイズ呼称 | dD | dA |
|---|---|---|
| 24-24 | 4604 | 2220 |
| 27-27 | 5169 | 2502 |
| 30-30 | 5752 | 2794 |

(単位：mm)

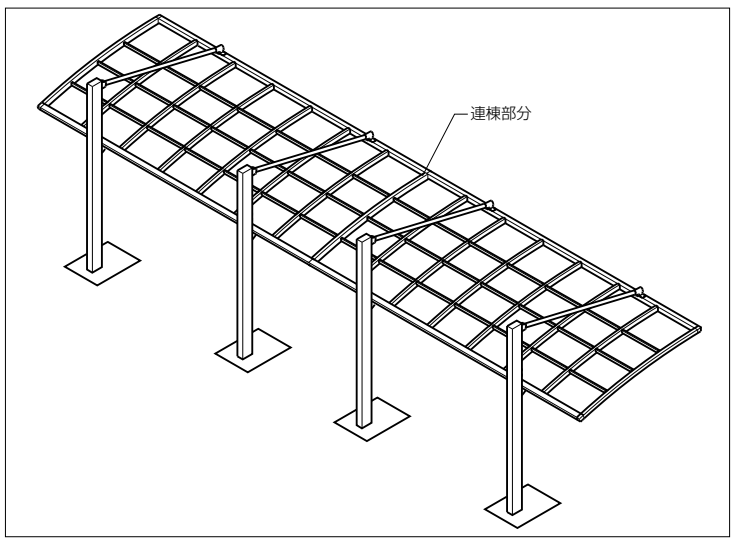
| サイズ呼称 | ℓ | ℓA | ℓB | ℓC |
|---|---|---|---|---|
| 50 | 5002 | 1101 | 1400 | 1400 |
| 57 | 5708 | 854 | 2080 | 1920 |

### ■Y合掌部の取付け

【お願い】57サイズの場合は、つり材とはりとの干渉を避けるため、中央の柱位置を左右どちらかへずらしてください。
❶57サイズの場合は,Y合掌屋根アタッチメントを加工します。
❷Y合掌屋根アタッチメントを後枠にのせ、テクスねじで固定します。
※柱との透き間にシーリング材を充てんしてください。
❸Y合掌屋根固定部品とY合掌屋根アタッチメントの透き間にシーリング材を充てんします。
❹Y合掌屋根固定部品とY合掌屋根キャップをY合掌アタッチメントの上に乗せ、それぞれ固定します。
❺Y合掌屋根をY合掌屋根アタッチメントの上にテクスねじで固定します。
※Y合掌屋根とY合掌屋根固定部品との透き間aは、左右均等(3mm)にしてください。
※Y合掌部以外の取付けについては基本タイプを参照してください。



## ■縦連棟の取付け手順




### ■基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

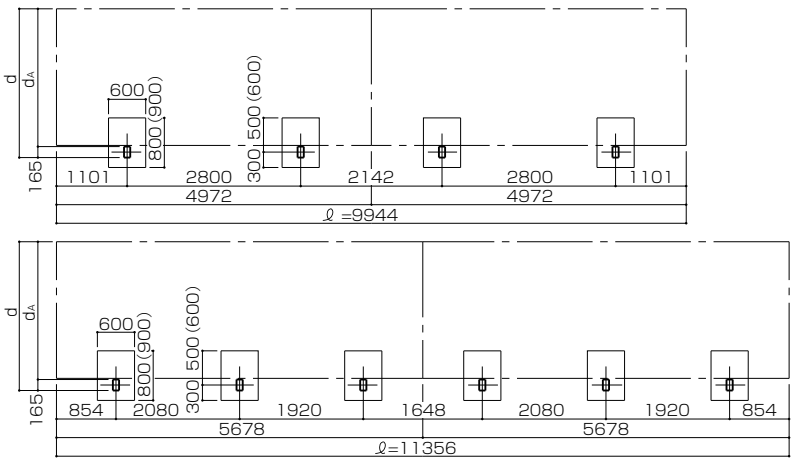
※基礎構造については構造説明図を参照してください。

(単位：mm)

| サイズ呼称 | d | dA |
|---|---|---|
| 24 | 2385 | 2220 |
| 27 | 2667 | 2502 |
| 30 | 2958 | 2793 |

**【お願い】**57サイズの場合は、つり材とはりとの干渉を避けるため、中央の柱位置を左右どちらかへずらしてください。

**●墨出し位置**　※（　）内の寸法は、30サイズの基礎穴寸法を示す。

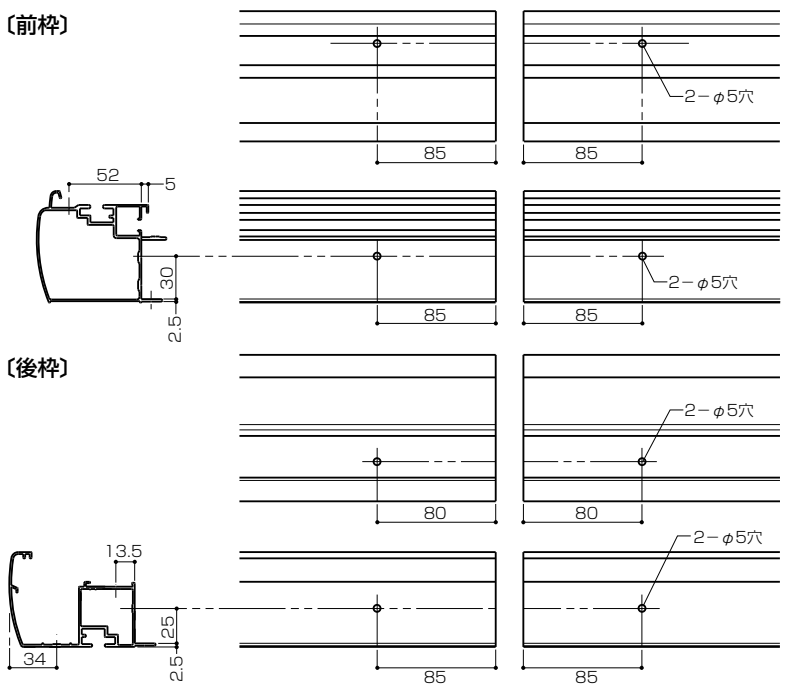


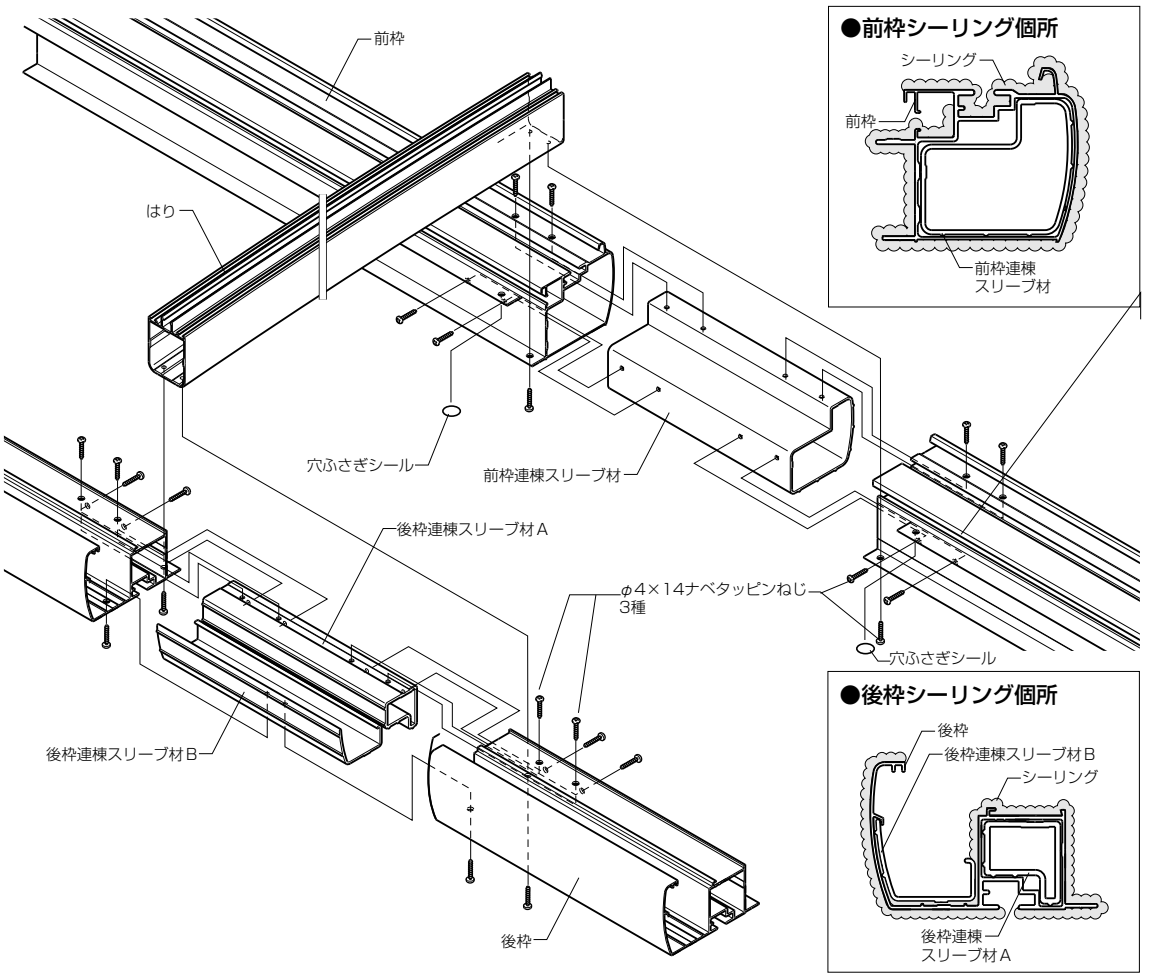

### ■縦連棟部の取付け

❶前・後枠(縦連棟側)を加工します。
❷縦連棟部にシーリング材を充てんします。
❸前枠連棟スリーブ材と前枠、後枠連棟スリーブ材Ａ・Ｂと後枠を固定します。
❹はりを取り付けます。
❺前枠連結部の使用しない穴に穴ふさぎシールを張ります。
※縦連棟部以外の取付けについては基本タイプを参照してください。

**●前・後枠加工図(縦連棟側)**

〔前枠〕



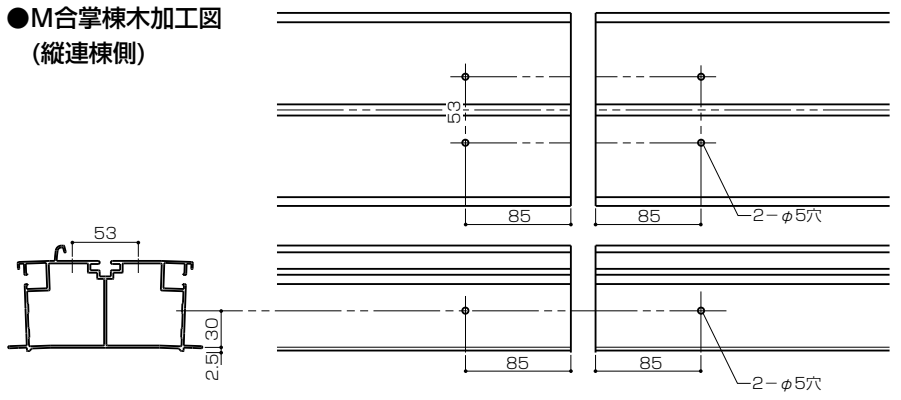



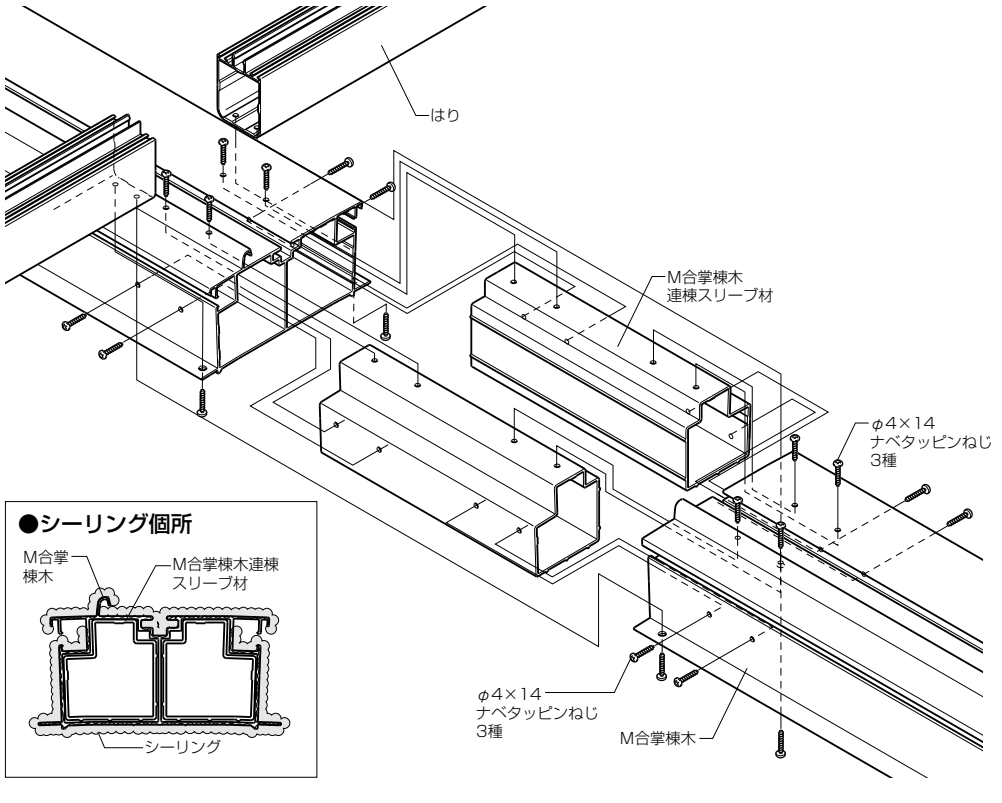

## ■縦連棟(M合掌)の取付け手順

### ■縦連棟部(M合掌)の取付け

❶M合掌棟木・後枠(縦連棟側)を加工します。
❷縦連棟部にシーリング材を充てんし、図に従って連棟します。
※後枠については、上記を参照してください。

**●M合掌棟木加工図**
**(縦連棟側)**



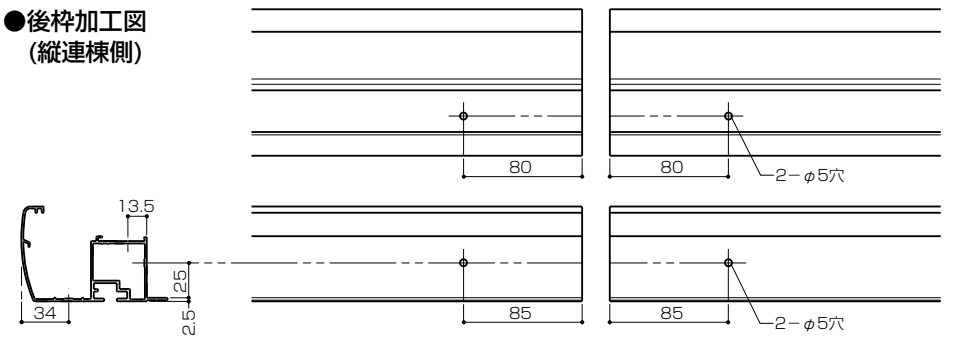



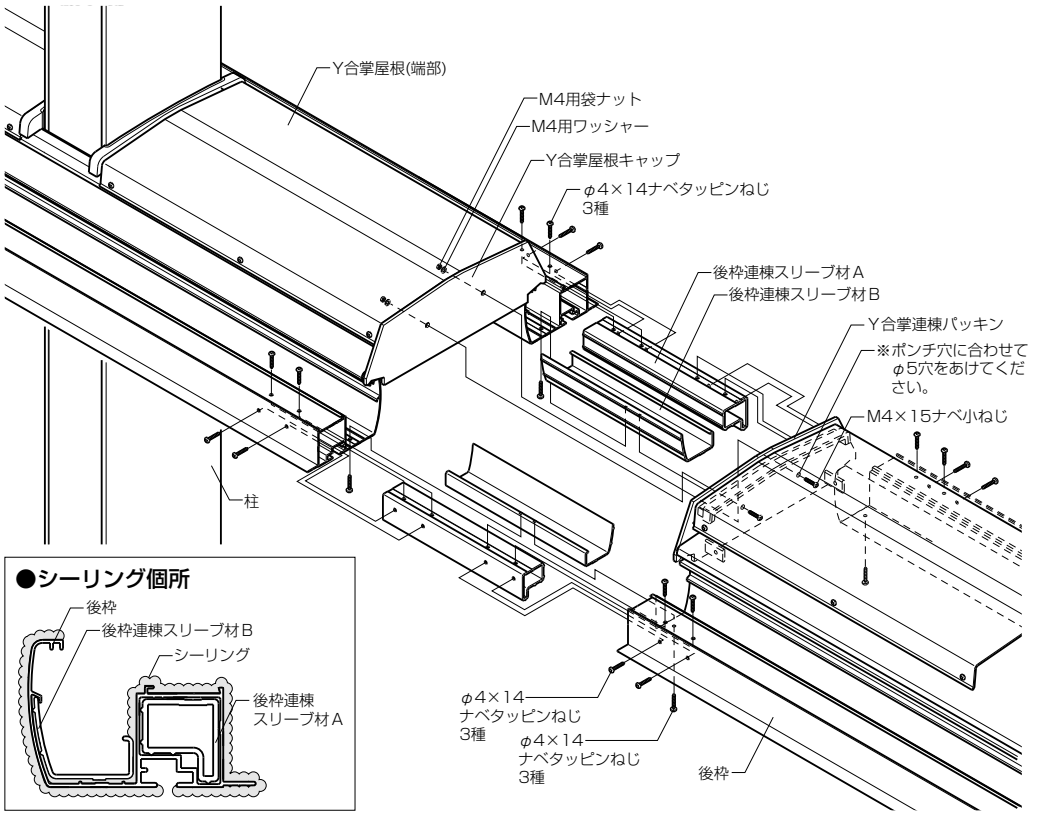

## ■縦連棟(Y合掌)の取付け手順

### ■縦連棟部(Y合掌)の取付け

❶前・後枠(縦連棟側)を加工します。
❷Y合掌屋根キャップ(縦連棟側)をポンチ穴に合わせて加工します。
❸縦連棟部にシーリング材を充てんし、図に従って連棟します。
※前枠については、上記を参照してください。

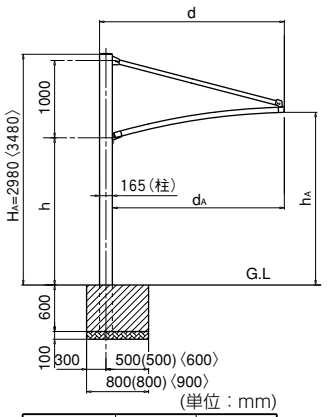
**●後枠加工図**
**(縦連棟側)**



## ■納まり参考図

### ■基本タイプ



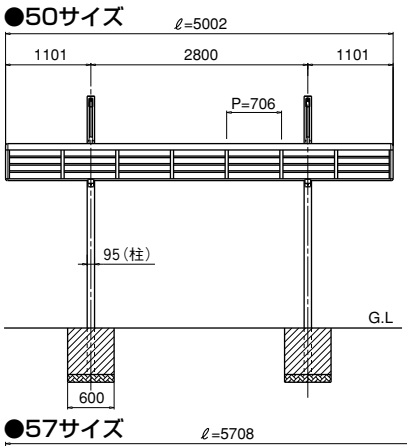

(単位：mm)

| サイズ呼称 | d | dA |
|---|---|---|
| 24 | 2385 | 2220 |
| 27 | 2667 | 2502 |
| 30 | 2958 | 2793 |

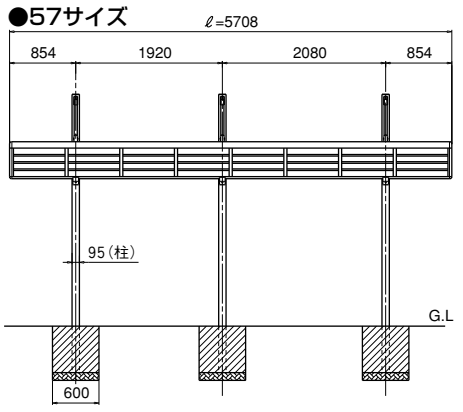
(単位：mm)

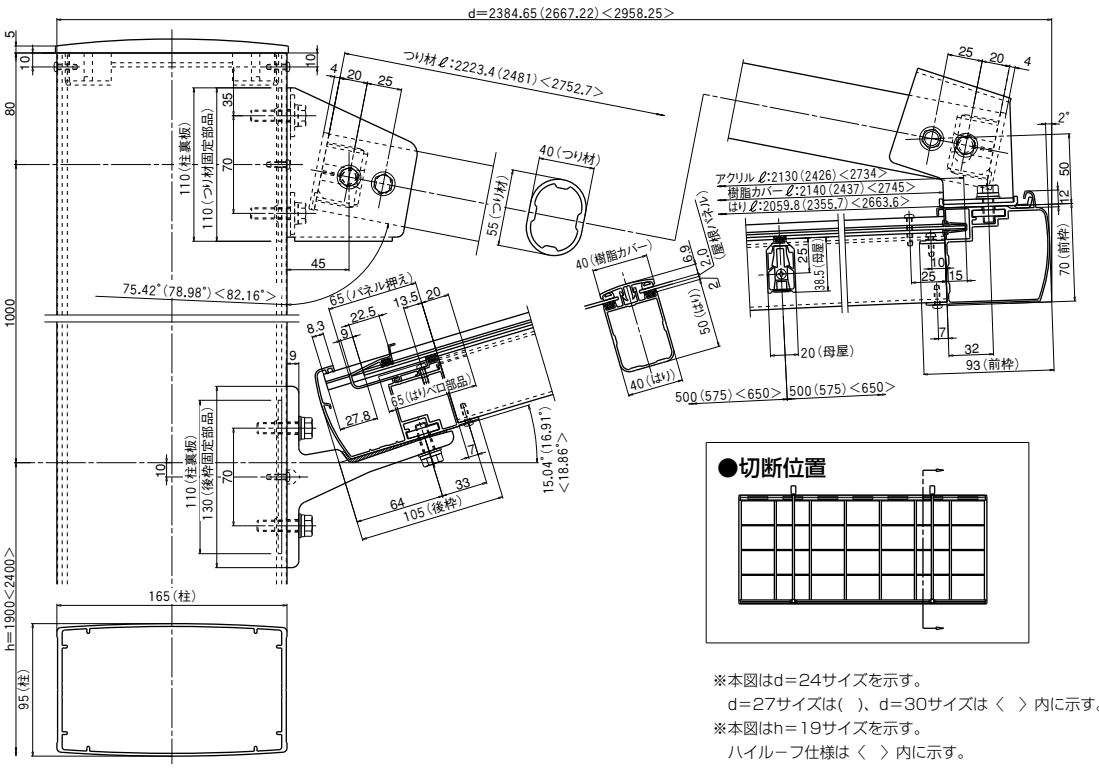
| 呼　称 | h | hA | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 24 | 27 | 30 |
| 標　準 | 1900 | 2229 | 2313 | 2409 |
| ハイルーフ | 2400 | 2729 | 2813 | 2909 |

●50サイズ




●57サイズ




●切断位置

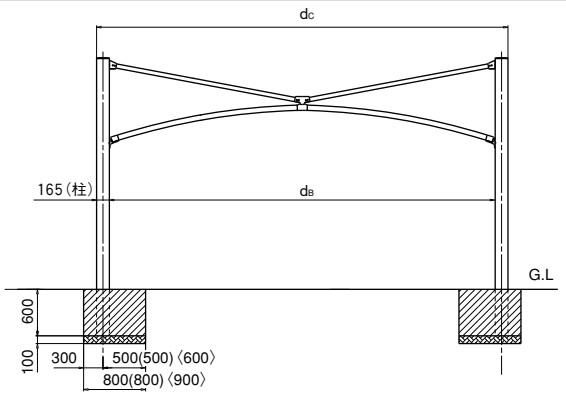


※本図はd=24サイズを示す。
　d=27サイズは(　)、d=30サイズは〈　〉内に示す。
※本図はh=19サイズを示す。
　ハイルーフ仕様は〈　〉内に示す。

### ■M合掌タイプ

(単位：mm)

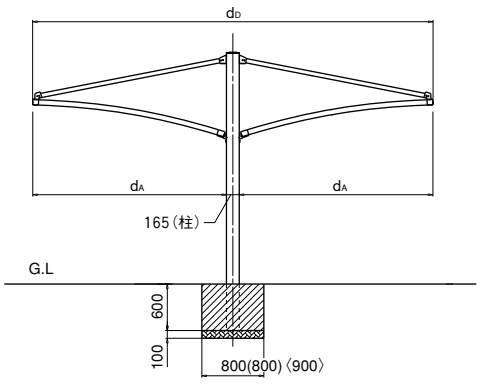
| サイズ呼称 | dC | dB |
|---|---|---|
| 24-24 | 4745 | 4415 |
| 27-27 | 5309 | 4979 |
| 30-30 | 5892 | 5562 |



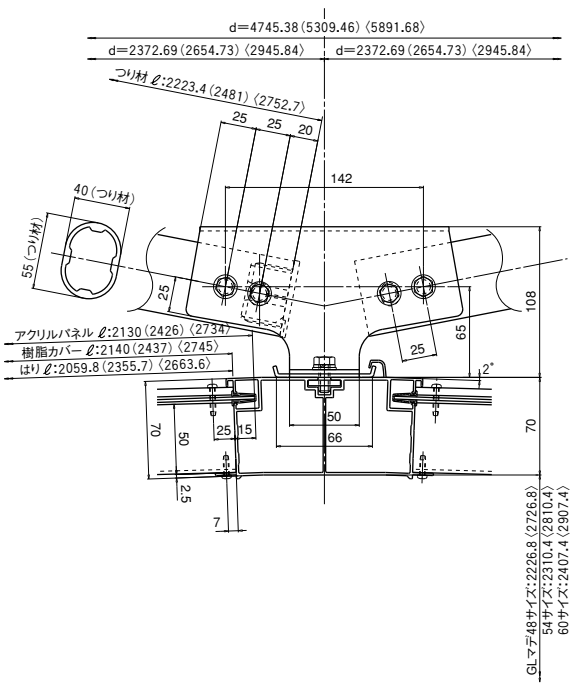

### ■Y合掌タイプ

(単位：mm)

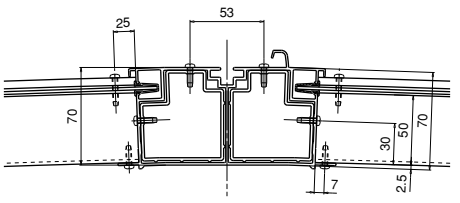
| サイズ呼称 | dD |
|---|---|
| 24-24 | 4604 |
| 27-27 | 5169 |
| 30-30 | 5752 |



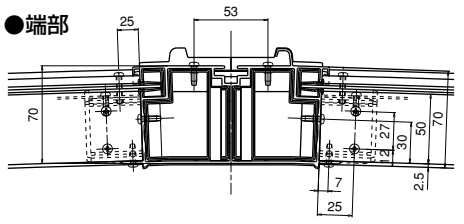

●中間部



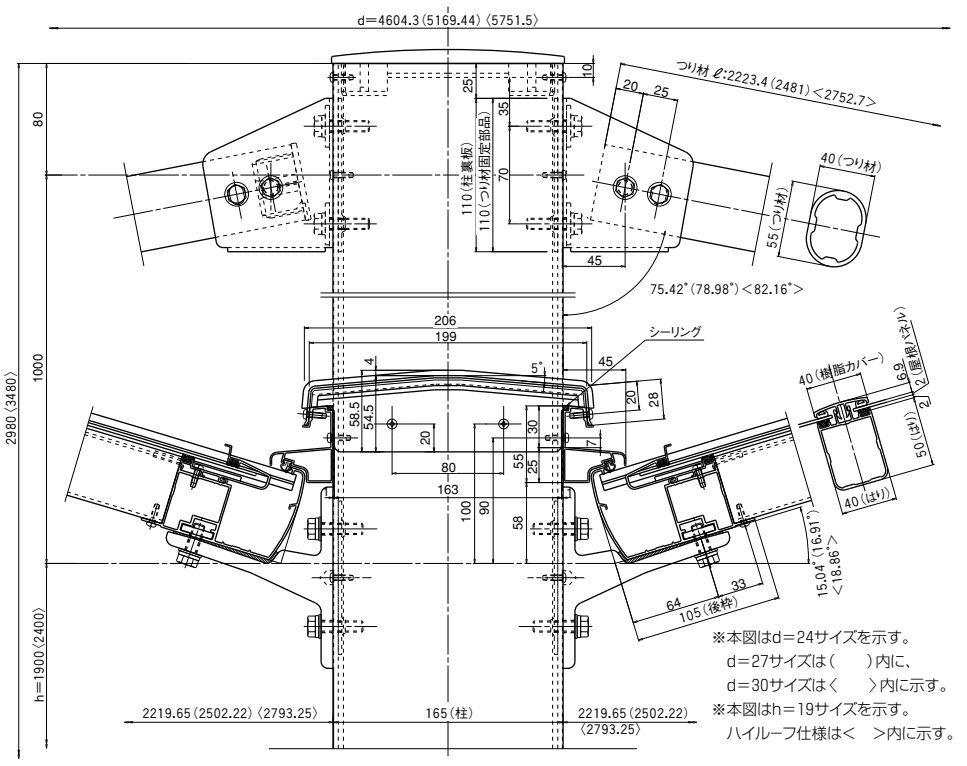

●連棟部



●端部



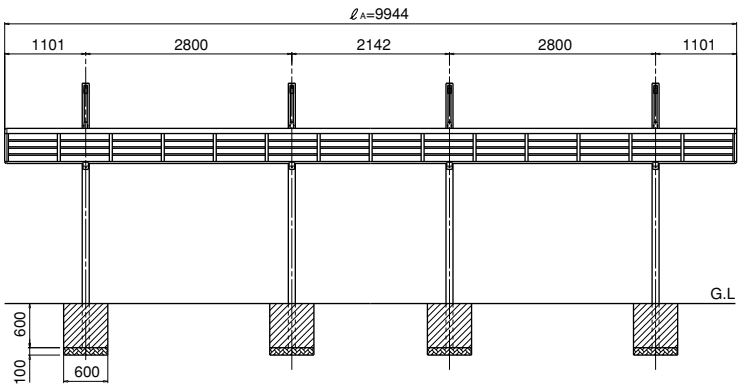
※本図はd=48サイズを示す。
　d=54サイズは(　　)内に、
　d=60サイズは〈　　〉内に示す。
※本図はh=19サイズを示す。
　ハイルーフ仕様は〈　〉内に示す。



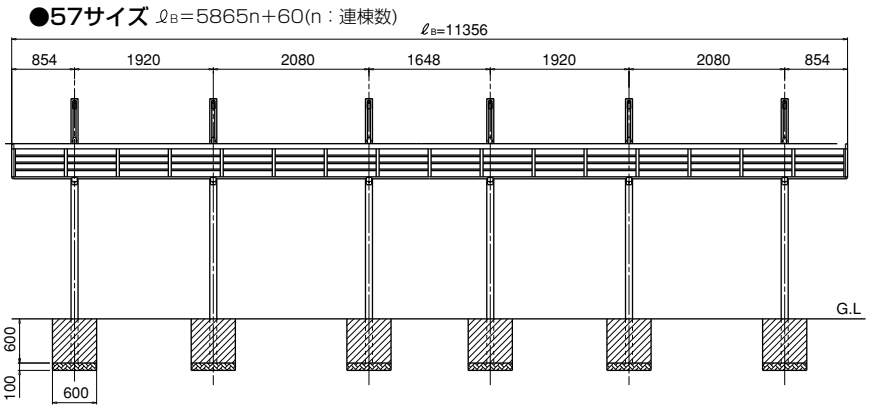

※本図はd=24サイズを示す。
　d=27サイズは(　　)内に、
　d=30サイズは〈　　〉内に示す。
※本図はh=19サイズを示す。
　ハイルーフ仕様は<　>内に示す。

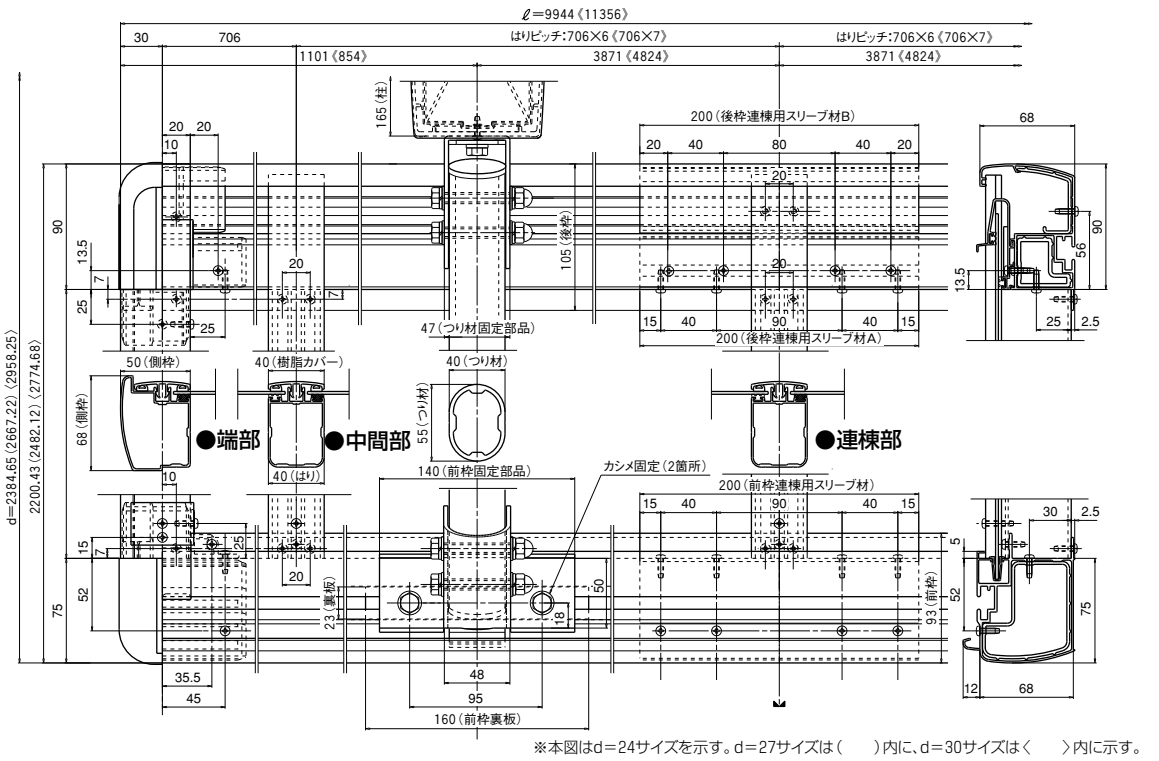
### ■縦連棟タイプ

●50サイズ　ℓA=5010n+60(n：連棟数)




●57サイズ　ℓB=5865n+60(n：連棟数)




※本図はd=24サイズを示す。d=27サイズは(　　)内に、d=30サイズは〈　　〉内に示す。
※本図はℓ=50サイズを示す。ℓ=57サイズは《　》内に示す。